



「夫婦でグラウンドゴルフを楽しみたいです」



再建した場所 益城町小谷（下小谷）
関係した支援 自宅再建利子助成事業（住宅ローン利子助成）
地盤改良工事補助金
インタビューに応じた人 やのゆづる 矢野穰さん・みづえ 瑞枝さんご夫妻

Interview

□被災状況は

震災前はお店をやっていたので、2階建てと平屋をつないだような形をした家でした。お店があった2階建ての方はリフォームをしていましたが、2回の地震で外壁も内壁もはがれ、地盤が沈み、平屋とのつなぎ部分に亀裂ができていました。それでも判定は半壊でしたので、修理の見積もりをしてもらいましたが、新築で建て直せるくらいの金額だったので、修理は諦めました。

また、妻(瑞枝さん)が本震で右腕を複雑骨折するなど、住居以外でも大変な思いをしました。

□避難先と仮設団地での状況は

地区の避難場所は津森小学校ですが、学校そばの川岸が崩れていたのでエミナスに向かい、近くにある会社の駐車場で車中泊をしていました。その駐車場も、1か月後には従業員が使用するというので使えなくなりました。

仮設団地はテクノに応募しましたが、抽選で外れてキャンセル待ちになってしまいましたので、菊陽町にあるアパートを契約しようとしていたところ、テクノ仮設団地にキャンセルが出て、入居が決まりました。

みなし仮設とは違って、テクノ仮設団地には同じ境遇の人たちが集まっています。

自治会長をしていて、みんなの家での子どもたちのいたずらや遊びの後始末は大変でしたが、み

んなで助け合っただけだったので良かったと思っています。

□自宅の再建で困ったことは

震災前に建っていた家の解体を決めたとき、すぐに建て直すことを決めました。地盤が心配だったので、熊本市内の土地を見に行きましたが、生まれ育ったところから離れたくない気持ちの方が強かったので、ここで再建することにしました。

ただ、調査の結果、やはり地盤が弱かったので、5.5㍓の杭を61本も打ち込みました。費用もかなりかかりましたので、地盤改良工事補助金*を利用しました。

去年5月から親子3人で新居での生活を楽しんでいます。町の相談会は利用していませんが、支援金や義援金を頂きましたので助かりました。

息子名義でローンを組んでいますので、県が行う利子助成*の申請をしようと思っています。

□今後の生活への期待は

家を解体して、何もなくなった時の悲しさが大きかったので、再建できて満足しています。

これからは、夫婦でやっているグラウンドゴルフを楽しみたいと思っています。芝の上でやるので気持ちがよく、いい運動になります。老人会青年部として頑張ろうと思っています。

インタビュー

***地盤改良工事補助金** 町内で被災した住居(貸家などを除く)を解体し、町内の土地に建て替える際にかかった地盤改良工事の費用を一部補助するもの。詳しくは、復旧事業課宅地復旧係 ☎ 286 - 3224 まで。

***自宅再建利子助成事業(住宅ローン利子助成)** 県内で住宅を再建するために金融機関などから融資を受けた場合、その利子について補助を行うもの。対象額や収入要件で条件が変わりますので、詳しくは生活再建支援課 ☎ 289 - 1400 まで。